

て認定



9月定例会のあらまし

平成28年第3回定例会は8月26日から9月21日まで27日間の会期で開催し、報告8件、議案35件、発議案2件が提案されました。

一般質問には議員18名が登壇し、市長、教育委員長等の考えを質しました。

議案審議では、「奥州市立幼保連携型認定こども園条例の制定」をはじめ、条例の一部改正や補正予算等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

また、平成27年度一般会計、各特別会計等の歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会を設置して集中審査し、原案通り認定しました。

平成27年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

※1万円未満四捨五入

会 計 名		歳 入	歳 出	認定の賛否
一 般 会 計		618億2,774万円	613億 722万円	賛成15、反対10（棄権1）
特 別 会 計		338億1,394万円	332億9,315万円	
内 訳	国民健康保険（事業勘定）	151億1,331万円	146億1,901万円	賛成26
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	2,279万円	2,160万円	
	後期高齢者医療	11億3,349万円	11億3,168万円	賛成26
	介護保険（保険事業勘定）	109億1,131万円	109億 931万円	賛成26
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1億8,441万円	1億8,211万円	
	簡易水道事業	11億8,300万円	11億7,149万円	賛成22、反対4
	下水道事業	33億8,245万円	33億7,669万円	賛成26
	農業集落排水事業	14億2,147万円	14億2,048万円	賛成26
	浄化槽事業	3億3,794万円	3億3,702万円	賛成26
	バス事業	1億1,058万円	1億1,058万円	賛成26
	米里財産区	1,321万円	1,321万円	賛成26
	合 計	956億4,168万円	946億 37万円	

一般会計決算認定に対する討論

反対 行財政改革で経費節減を強いながら、一方で不透明な事務手続きで生じた高額な予算を簡単に提出し、問題を棚上げにした市政運営には納得出来ない。また、百条委員会で真相究明中であり、疑義のある決算を認めるわけにはいかない。

反対 決算は計数的な是非のみならず、予算執行全般について判断すべきである。以下を指摘し反対する。①胆沢統合中学校用地の廃棄物処理に関わる財政支出。②社会福祉法人等に対する市有地の有償貸出し。③万年の森の残土処理問題。

反対 万年の森太陽光発電事業だけを取り上げて決算を不認定にすることは難しいという議員もいるが、議会の意思決定に矛盾し理解できない。

反対 万年の森における太陽光発電事業者に対し、賃料を払い戻した明確な根拠がない。話し合いの結果が根拠ということは有り得ない。

賛成 協働のまちづくり第2ステージに向け、確実・円滑な移行準備を進めるとともに、子どもの教育・子育てを中心に据えた教育委員会としての機能と役割を明確にした。

百条委員会の設置と決算認定に矛盾があるとの指摘もあるが、委員会審査独立の原則により本会議の議決に拘束されないとの規定があり、相互に干渉や制約を受けるものではない。

賛成 実質収支は4億3千万円余の黒字、財政調整基金残高も9億8,500万円余となり、堅実な行財政運営の成果である。また、合併10年目は新市建設計画の事業完了を目指す年度であったが、計画に基づきほぼ実現を果たしたものと評価する。

賛成 決算は1年間の全ての施策に対し予算が適正に執行されたかを審査するものである。決算委員会での指摘や附帯意見も付しており、財政運営の一層の健全化と適正化に向けた前向きな意義が重要である。